

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

(1) 教育の成果に関する目標を達成するための措置

【学部教育】

- ・ AO 入試 (early admission など) を平成 20 年度より導入する。

年度計画	
16 年度・計画	AO 入試を新規に企画する作業部会を入試検討委員会に設置し、方針及び内容等を審議・決定する。
16 年度実施内容	AO 入試を新規に企画する作業部会を入試検討委員会に設置し、以下のことを実施した。 1) これまでの入試（特に後期日程試験）についての実績評価 ①志願者減少の原因調査、②受験者の多い高校の調査、③学部学生に対する調査、④後期日程入学者の追跡調査、等。 2) AO 入試、推薦入試など新選抜制度の検討 ①アドミッションセンター及び AO 入試実施実績のある工学部担当者との情報交換、②AO 入試Ⅲ期に主眼を置いた内容や課題についての審議、③教育学系 7 大学の対策と戦略の調査。 3) 「AO 入試導入の検討課題」の作成 ①AO 入試におけるアドミッション・ポリシーの明示に関すること、②AO 入試Ⅲ期導入の場合の方針と内容に関すること、③AO 入試の効果などに関すること。
17 年度	AO 入試の実施に向けて、実施体制の整備、実施要項の高等学校等関係者への説明を行う。
17 年度実施内容	AO 入試の実施に向けた作業部会を入試検討委員会に設置し、以下のことを実施した。 1) 「平成 20 年度 AO 入試Ⅲ期の実施方針（案）」の策定 実施要綱に係る①入学の時期、②募集人員、③出願資格、④出願要件、⑤選抜方法、⑥その他についての案を策定し、教育学部教授会に諮り了承を得た。 2) 「後期日程試験廃止（案）」の諮問 AO 入試導入に伴う「後期日程試験廃止（案）」を教育学部教授会に諮り、了承を得た。 3) AO 入試Ⅲ期実施方針（案）に基づく実施体制の整備
18 年度	AO 入試の実施に向けて、募集要項の公表並びに高等学校等関係機関への周知等を行う。
18 年度実施内容	前年度の AO 入試Ⅲ期導入方針の決定を受けて、入試検討委員会において以下のことを実施した。 1) 平成 18 年度東北大学教育学部オープンキャンパスにおけるプログラムの中で、「入学試験案内」の時間を設定し、平成 20 年度 AO 入試Ⅲ期導入について検討している旨を高校生および関係者に紹介した。 2) 「平成 20 年度 AO 入試Ⅲ期の実施要項」を踏まえ、①「平成 20 年度東北大学入学者選抜方針」に掲載する教育学部アドミッション・ポリシー、②面接試験方法、③AO 入試Ⅲ期の配点について案を策定した。平成 18 年 12 月に大学入試課「平成 20 年度東北大学入学者選抜」予告において、教育学部 AO 入試Ⅲ期実施方針が公表された。
19 年度年度計画	AO 入試Ⅲ期実施の初年度にあたり、平成 20 年度 AOⅢ期入試実施要綱の新規策定並びに高等学校等関係機関への周知のための広報活動を行う。
達成度評価資料	学部入学者募集要項 教授会議事録

- ・ 大学院への進学準備体制を充実させるため、希望する者に対しては専門性に特化した科目履修を勧めるなど、学部段階から大学院研究コースへの接続を前提とした履修コースを平成19年度より明示する。

年度計画	
16年度	計画を実行する委員会・作業部会を設置し、特別コースの内容・対象、学生の要望等について調査・審議する。
16年度実施内容	運営会議での検討を中心に、大学院研究コースへの接続を前提とした履修コースのあり方、計画を進める上での各種委員会の関係を整理した。
17年度	特別コースの履修要件、判定基準、指導体制等について審議し、決定する。
17年度実施内容	教務委員会及び本郷WGが、大学院進学希望者に対する指導について、各コースにおける取り組みについて実態を調査した。
18年度	大学院研究コースへの接続を前提とした履修モデルについて、学生に実施時期・内容等について周知する。
18年度実施内容	大学院研究コースへの接続を前提とした履修モデルについては、18年度に教職課程認定に伴う学部カリキュラムの改変が行われたため、次年度以降にその設定の是非を含め、検討することとした。
19年度年度計画	大学院研究コースへの接続を前提とした履修モデルの設定の是非について、大学院入学者に占める自大学出身者の割合を制限しようとする政策上の動向を見極めながら、その是非を含めて検討する。
達成度評価資料	教務委員会資料

【大学院教育】

- ・ 秋期・冬期の2回の大学院入試については、それぞれの時期の条件を十分に考慮に入れ、教育目的に、より適合した入試方法の開発を平成19年度を目標に行う。

年度計画	
16年度・計画	大学院入試の在り方を検討する作業部会を入試検討委員会に設置し、複数入試の方針、目的並びに内容等について調査・審議を行う。
16年度実施内容	大学院入試の在り方を検討するため、入試検討委員会に次の作業部会を設置し、審議を行った。 1) 募集要項の枠組みの検討（外国人留学生特別選抜の設定の可能性、等） 2) 社会人特別選抜入試の見直し（学力査定の方法、外国語試験の導入の可能性） 3) 外国語試験科目の見直し（科目数や新たな科目の導入等） 4) 第1期および第2期の定員比重についての検討 5) 学部3年次での前期課程受験の実施についての検討
17年度	大学院入試の在り方について方針等を決定し、大学院入試の実施体制の整備を行う。
17年度実施内容	入試検討委員会において、秋季実施の場合のデメリットを最小限に止めつつ、前期2年の課程については入学定員の大半を秋季入試で確保するという方向で、試験科目の設定及び内容等について審議を行った。また、併せて、①秋季入試重点化の目的、②秋季入試重点化の完成形態（冬季入試の存廃）、③大学院入試のアドミッション・ポリシーについても審議を行った。
18年度	新たな大学院入試の実施要項の公表並びに関係機関への説明・広報等を行う。
18年度実施内容	秋季実施の場合のデメリットを最小限に止めつつ、前期2年の課程については入学定員の大半を秋季入試で確保するという基本方針を踏まえ、以下のことを実施した。 1) 学部3年生向けコース・オリエンテーションの際に、20年度大学院入試の実施方針が従来と異なる可能性があるため、進学希望者は入試情報に注意を怠らないようにという旨の案内を行った。 2) 本研究科への入学・編入学に関心のある東北大学および他大学の大学生、大学院生、社会人に対して必要な情報を対面状況において提供し、入学・編入学につ

	いて進路選択を支援する目的で「東北大学大学院教育学研究科入学・編入学説明会」を実施した。学外 40 名、学内 20 名の参加を得た。 3) 「平成 20 年度東北大学大学院教育学研究科博士課程前期 2 年の課程学生募集要項」(案) の策定に向けて試験科目、各試験内容、試験時間に関する審議を重ね、新しい内容の募集要項案を作成した。またこれに合わせ、可否判定基準の明確化も行った。
19 年度年度計画	「平成 20 年度東北大学大学院教育学研究科博士課程前期 2 年の課程学生募集要項」を公表し、これに基づき改定後初年度となる大学院入試実施体制を確立する。
達成度評価資料	大学院入試関連データ及び大学院入学者募集要項、教育学研究科案内 入試検討委員会資料

- ・ 大学院重点大学としての実質をより向上させるため、学内特別推薦枠を設けて優秀な学部生の大学院進学を促す。
- ・ 有職社会人を対象とする修士課程「教育マネジメント」コース（仮称）を平成 19 年度に新設する。
- ・ 高度専門職業人養成に合致した職業学位（修士課程）の導入について検討する。

年度計画	
16 年度	高度な専門職者を対象とする修士課程について、委員会・作業部会等を設置し、内容、対象、組織等を調査・検討する。
16 年度実施内容	運営会議を中心に、①有職社会人を対象とする修士課程「教育マネジメント」コース（仮称）の構成、②他の研究コースとの関連、③職業学位を新設する必要性の有無について検討した。
17 年度	高度な専門職者を対象とする修士課程について、同課程の履修要件、修了要件等を審議・決定する。
17 年度実施内容	大桃 WG 及び水原 WG において検討を進め、初等中等教育だけでなく高等教育、大学経営を視野に入れた教育行政職員の養成を目的とした有職社会人を対象とする修士課程「教育マネジメント」コース（仮称）構想は、新たに「教育専門職大学院」構想へと発展し、その設置準備のための作業を行った。
18 年度	教育専門職大学院の設置認可申請を行う。
18 年度実施内容	「教育専門職大学院」構想を、高校教員の養成等を目的とする「教育設計評価専攻」構想に改め、その設置準備のための作業を行った。
19 年度年度計画	「教育設計評価専攻」の設置認可申請を行ない、次年度からの実施を目指す。
達成度評価資料	教育学研究科「教育設計評価専攻」設置構想（平成 19 年度特別教育研究経費要求書）